

平成 23 年 4 月 4 日

各 位

会社名 株式会社 タイヨー
代表者名 代表取締役社長 清川 和彦
(コード番号：9949 大証第2部 福証)
問合せ先 常務取締役管理本部長 上坪 勝人
(TEL 099-268-1211)

業績予想の修正及び減損損失の計上に関するお知らせ

平成 22 年 4 月 12 日に公表いたしました平成 23 年 2 月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 2 月期 業績予想の修正 (平成 22 年 3 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日)

(1) 連結業績予想数値

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	128,700	2,300	2,300	830	29.99
今回修正予想(B)	127,614	2,364	2,301	339	13.08
増減額(B-A)	△1,085	64	1	△490	—
増減率(%)	△0.8	2.8	0.1	△59.1	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 2 月期)	126,830	2,190	2,253	822	29.70

(2) 個別業績予想数値

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	128,000	2,200	2,200	800	28.91
今回修正予想(B)	126,859	2,263	2,221	374	14.42
増減額(B-A)	△1,140	63	21	△425	—
増減率(%)	△0.9	2.9	1.0	△53.2	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 2 月期)	126,182	1,951	2,038	760	27.48

2. 修正の理由

当期におきましては、新興国の経済成長に伴う輸出拡大と政府による経済政策により一部で回復の兆しが見られたものの、景気刺激策の効果が薄れたことに加え、円高基調の進行や株価の低迷、依然として厳しい雇用・所得環境の影響により、景気は引き続き低調に推移いたしました。また、消費者の節約・貯蓄志向が続くことにより消費マインドの回復は乏しく、個人消費の冷え込みが続きました。

このような状況のもと、当社は平成 22 年 11 月 26 日に創業 50 周年を迎えるにあたり、特別販売促進セールや記念式典の開催、記念誌の発行等の様々な事業を行ってまいりました。また、「百均市」、「今が旬・祭」、「ステーキ祭」等の恒例セールの企画充実や販売強化を推し進め、鮮魚部門では、「朝獲れ産直便」を新たに実施するとともに、「タイヨーネットスーパー」におきましては、鹿児島市内

のより広い範囲で利用できるようにいたしました。

また、当社グループは、平成 20 年度から 3 年間にわたって取り組んでまいりました第一次中期経営計画の最終年度として活動の総括を行い、先行き不透明な経済環境のなかで盤石な経営基盤を築けるよう、平成 23 年度から 3 年間にわたる第二次中期経営計画の策定に取り組んでまいりました。

これらの結果、業績も堅調に推移しておりましたが、土地、建物等の減損損失(3を参照)が発生し、当期純利益が当初予想の連結で 59.1%減、個別で 53.2%減となる見込みであります。

3. 減損損失の計上

当社グループが保有する固定資産の時価の下落等により、平成 23 年 2 月期の連結及び個別決算において特別損失として 794 百万円の減損損失を計上することといたしました。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上